

令和元年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	40	学校名	静岡県立科学技術高等学校	記載者	小野 聡
------	----	-----	--------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見	
ア	日常の学習習慣を定着させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に主体的に取り組んでいると答える生徒80%以上 ・授業の内容がよく分かると回答する生徒80%以上 ・教員は授業を大切にするとともに、分かりやすい授業を行おうと努めていると答える保護者70%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を実施する教員に対する評価が高いことが素晴らしい。 ・わかりやすい授業展開の工夫が生徒に伝わっていると考えられる。 ・保護者にも、教員の姿勢や努力が理解されていると考えられる。 ・学習指導要領の改訂や大学入試改革に伴い、高校での授業法、学習法の改善は、実現までに時間のかかる課題だと思われる。科学技術高校の教育環境が活かされた授業法などが発信されることを期待する。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・1日10時間、学習と部活動に集中して取り組んでいると答える生徒60%以上 ・学習と部活動が両立できていると答える生徒70%以上 	C	C		<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムのスリム化を実施するためには、家庭学習の充実が必要。 ・選択肢の変更があったと思うが、37.5%以外の62.5%の生徒の状況把握が必要。それを根拠に改善策を考えることになる。 ・高校教育の中での部活の位置づけは、時間をかけて議論しなければならないと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・教養力テストの実施 	A	A		
	個々の生徒のニーズに対応した進路指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・手帳等を活用し、学校内外の活動を記録している生徒100%（1、2年生） 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が手帳の意味・必要性を実感できるように工夫改善する必要がある。 ・目標数値よりもかなり低いのが、理由は何か。 ・生徒が、ポートフォリオとして手帳の必要性を感じる必要があるかと思う。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来に対する夢や希望を持っていると答える生徒60%以上 ・信頼できる先生がいると答える生徒70%以上 ・きめ細やかで適切な進路指導がなされていると答える保護者70%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・早くから希望進路をある程度決定し、それを目標に学習に励むことは大切であるとする。 ・仕事が増えるので調査しなくてもよいが、卒業後、進路（進路指導）に対する意見、満足感などわかる範囲で把握したい。 ・信頼される先生であることが学習効果に影響する者と考えられるので更に工夫が必要か。 ・学年が上がる毎に率が高くなり、最終学年で目標を達成したことは評価できる。 ・教員に対する信頼が高くなることで、様々な指導が効果的になる。 ・AO入試を活用した高大接続のあり方が模索されているものと推察する。理数科、工業科のカリキュラムの中で実践される貴校の指導例は、高大接続の課題に一石を投じるものと思われる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大学合格者50人以上 ・就職内定率100% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が志望する大学に進学できるよう、指導を継続して欲しい。
	部活動を効率的に実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に参加している生徒70%以上 ・学校が楽しいと答える生徒80%以上 ・部活動ガイドライン等を踏まえ、適切な指導ができたと答える教員80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部の立場で見ると、「学校が楽しい」と回答する生徒が約6割あることは十分に評価できる。 ・56.8%以外の43.2%の生徒の状況把握が必要。 ・先生と生徒双方の評価に相違が出ているが、一度考え直す必要がある。
	生徒主体の活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が企画した事業の実施 年2回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動で最も重視しているところは何か。 ・体育祭や文化祭では、企画から運営まで生徒会が中心となり行い、自主性や実践力、団結力の高揚につながるなど、人間的な成長を促す機会となった。また地域との交流活動や姉妹校との国際交流では学校の良さを内外に発信し成果を納めることができた。今後は委員会活動の更なる活発化により生徒の自主性を育てたい。
イ	探究的な教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究への主体的な取組を促すととも 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との連携と共に、授業での探究的な教育方法の追究も必

		に、STEM 教育等、大学等と連携し、全学科で実施			<p>要。</p> <ul style="list-style-type: none"> STEM が工業高校の課題研究を見本にしているといえる。課題研究のテーマを生徒自身が考える、1年時から報告会に参加する、2年時では3年生の活動に参加するなど、課題研究を柱に学校の特色を打ち出してほしい。 高等学校の授業ばかりではなく、大学・研究機関との連携によりさらに高い研究意識が増すものと考えられる。 貴校は、STEM教育の趣旨を生かすのに最適な教育環境にあると思う。
専門分野の能力を向上させるとともに、必要な資質を育む。		・全国大会出場、全国規模のコンクール等の入賞	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 各学科の特色を活かした高い成果が出ている。 素晴らしい成果である。 日々の学習の成果を他に問うことは大変意義の有ることと考える。
		・国家資格等の受験者数及び合格者数の増加	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の努力と教員の適切な指導の成果であり、進路選択の幅が広がる。 素晴らしい成果を挙げている。
		・全学科で技術者倫理に関する指導を行う。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 高度な技術が生み出される現代では、「倫理」が重視される必要があると思う。 情報管理の徹底や、リサイクル及び資源の有効利用等、技術者としての自覚を促した。
		・特別支援学校と交流し、障がい配慮した教材を製作、寄贈する。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校と交流できなかったことは残念。生徒・職員の価値観が変わりうる大切な機会である。 障がい配慮した教材の開発・製作に期待したい。 様々な立場にある人間への共感をベースにした教育活動が展開されることを期待。
ウ	グローバル化への対応と国際理解教育を推進する。	・充実した海外研修ができたと答える生徒 100%	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 海外に進出した日系企業を訪問し状況を直接聴くことは貴重な経験。 事故、紛争、感染症へのリスク管理に腐心されていることと思う。 学校として外部資金を獲得する努力をお願いしたい。
		・海外渡航者数 15人以上	A	A	

		<ul style="list-style-type: none"> 英語検定等の受験者数の増加（CEFR B1及びA2レベルの生徒数の増加） 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 今後大学入試では、英語の扱いが大きく変化する。学校現場の対応は難しい面がある。 素晴らしい成果を挙げている。
		<ul style="list-style-type: none"> 海外姉妹校との交流（派遣、受入れ）の実施 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 同世代の外国人と直接交流することは、貴重な経験となる。 課題研究で交流を深める努力をお願いします。
持続可能な社会の一員としての素養を育成する。		<ul style="list-style-type: none"> 挨拶がしっかりとできていると答える生徒95%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 訪問すると気持ちの良い元気な挨拶をしてくれる。継続して欲しい。 スマートフォン・携帯電話の適切な利用の項目が、目標数値よりも低いが、どのような状況なのか。
		<ul style="list-style-type: none"> 身だしなみがしっかりとできていると答える生徒95%以上 	A	A	
		<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン・携帯電話は適切に利用していると答える生徒90%以上 	B	B	
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人当たりの年平均図書貸出冊数 2冊以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 専門書だけではなく幅広い分野の読書をして欲しい。 3年生の受験モードに入った時に、勉強場所の確保が難しいというのが課題になる。塾に通っている生徒はよいが、それ以外だと図書館もいっぱい、学校図書館を19時まで解放してくれると助かると思う。
		<ul style="list-style-type: none"> 図書館来館者数 延べ8,000人以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 漫画コーナーや私の一冊の発行等、種々の工夫がなされ、生徒が図書館に足を向ける機械を作るなど評価できる。
		<ul style="list-style-type: none"> インターンシップ、保育体験実習に参加した生徒の満足度80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 現在の高校生には社会の一員であるという観点での教育活動が求められている。離職の防止の観点からも継続して欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> 資源の大切さを意識させるとともに3Sの意味を理解し、積極的に取り組んでいると答える生徒90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 資源、環境の観点からも、引き続き啓発に取り組んで欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> 交通ルールの遵守に心掛けていると答える生徒95%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 自転車通学者の多い市内高校では、交通安全への啓発が重要。
エ	カリキュラム・マネジメントを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領への移行措置等を踏まえ、教育課程を変更する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 新課程では教科書の記述量が増加しており、授業を如何に探求的に行うかが重要。 貴校の教育環境の特色を生かしたカリキュラムが組まれること

				を期待。
特別支援教育体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談だよりを、月1回以上発行 ・1年生全員を対象としたカウンセリングを実施 ・個別の指導計画及び支援計画の作成 	A	A	<p>ストレス解消法やストレスとの付き合い方を助言して欲しい。生徒には担任や顧問でも見えない部分がある。相談員によるカウンセリングは、生徒の安心感につながる。</p>
教職員の資質・能力の向上を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の成果を授業改善や学校運営に役立てた教員90%以上 ・授業参観した教員90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容が具体的な教育活動の形になるには時間がかかる。業務多忙の中、新たな取組みは難しいのではないか。 ・ICT機器活用の先進的な事例や活用の必然性について探る必要がある。 ・世界の動きは研究ベースの授業です。生徒の課題研究発表と同じように、教員による教材の開発や新しい教育方法、優れた授業実践を発表しあい、教員がデータを基に議論しあう研究力を高める必要があると思う。 ・先生方の授業力を評価する観点とは、どのようなものでしょうか？これまで系統化を重視した高校の教育方法と、今後の新学習指導要領への対応に伴って考案される授業方法には、ある程度ギャップがあるかと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・授業力自己診断の実施 ・多様な測定ツールを用いてPDCAサイクルによる授業改善に取り組んだ教員100% ・日常的に授業でICT機器を活用した教員60%以上 	B	B	
		A	A	
		A	A	
教職員のメンタルヘルスの増進及びコンプライアンスの徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス及びコンプライアンスに関する研修の実施1回以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・業務多忙の中、メンタルケアは重要。一層の充実を図る必要がある。コンプライアンスやハラスメントに関する研修も必要。
学校教育活動に関する広報を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ週4回以上更新 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する教員の負担は大きいと思うが、学校から情報を発信する重要なツール。 ・現在学校ではどのような事が行われているか他に広報することが重要である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり教室の実施や、校外でのイベント等への参加を各学科で実施 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生に理系への興味を持たせる有意義な取組み。継続して欲しい。 ・ものづくり教室を、課題研究発表の場として活用して欲しい。 ・一般の方、地域の方とのコミュニケーションがとれる事業は生徒たちの学習の方向性や目的など、意識することができる機会となり有用である。 ・サンクスデー産業フェアで、生

					<p>徒の頑張っている姿を見た。活躍する生徒の姿は嬉しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な事業へのご協力に感謝している。
校務の円滑、かつ適切な実施を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が校務で共有サーバーを使用する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有と効率化のために有効だが、情報漏洩には細心の注意が必要。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善提案を募る。 ・勤務時間が減少したと答える教員50%以上 ・「生徒と向き合う時間」や「授業準備時間」が増えたと感じる教員50%以上 	A B B	A B B	<ul style="list-style-type: none"> ・「やめる、減らす、変える」ことにより、業務の効率化、多忙化解消及び教育の質の向上を図り、現状の業務の改善を進めていく必要がある。 ・勤務時間が減少したと感じている教員は少なく、抜本的な業務見直しを図り、改善することが必要である。 ・先生方の多忙化解消は、学校単位、県単位で改善の方法を。 ・先生方の授業力を評価する観点は、どのようなものか？これまで系統化を重視した高校の教育方法と、今後の新学習指導要領への対応に伴って考案される授業方法には、ある程度ギャップがあるかと思う。 ・先生方の教育活動に対する業務改善は、大変な課題だと思う。指導要領改訂や大学入試改革に伴う教育方法の研修や改善に多くの時間を割かれているのではないか。反面、保護者が学校に依存する傾向も強くなっているため、学校教育と切り離すべき業務をどう捉えるかが難しいと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の点検の日を設け、P F I 担当者との点検月 1 回以上実施 ・省エネ・省資源への取り組みを進め、コスト意識を醸成し、消費電力量を削減 	B C	B C	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ・省資源の意識は重要ですが、生徒・教職員の健康への配慮は大切。 ・コスト意識とその行為による便益（将来的にも）を図って行動することが重要。 ・生徒の安全のため継続した点検が重要。 ・猛暑の中、エアコンの使用制限は生徒と教職員の体調管理を考慮したうえで実施すべき。 	